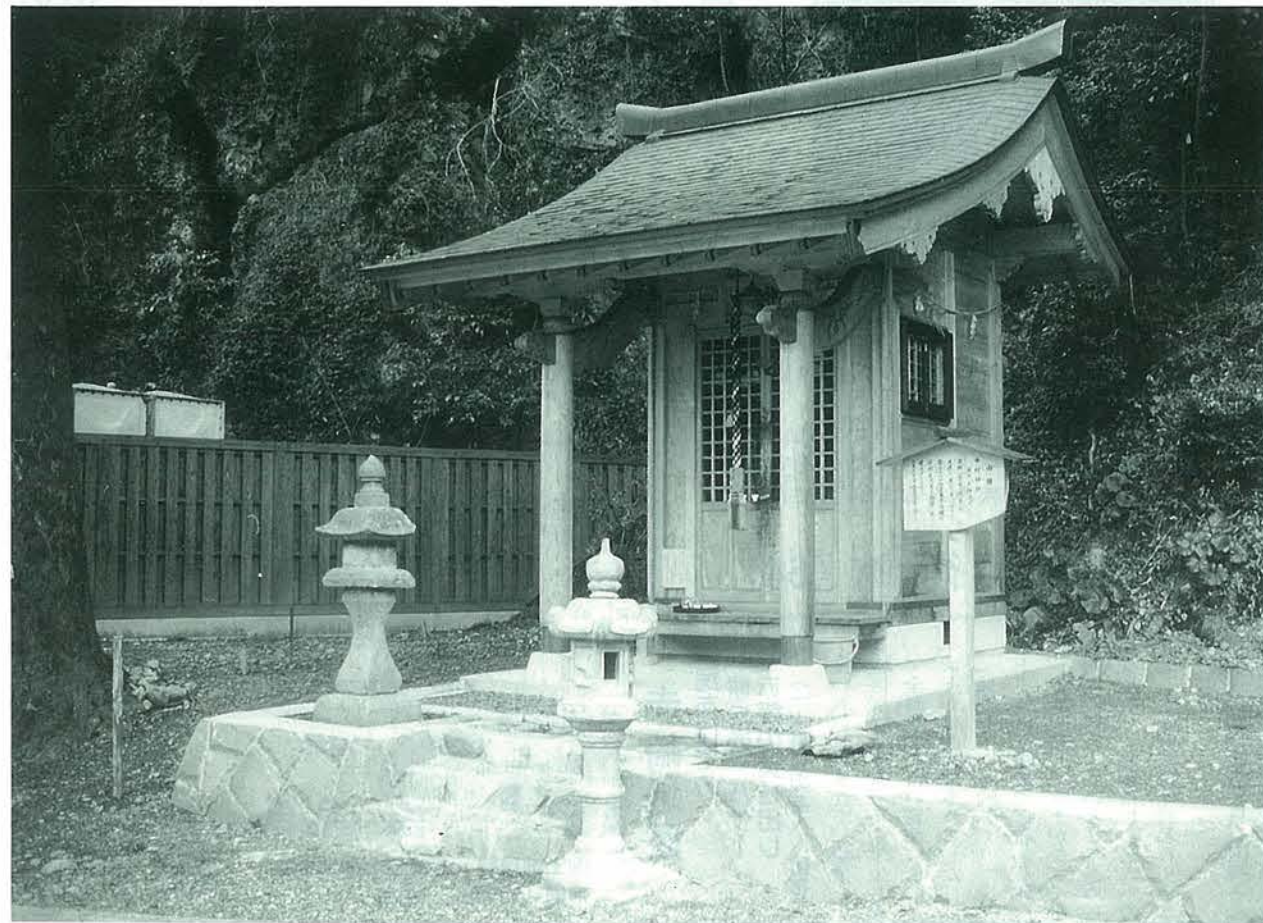


発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)3111(代)
印刷所 旭印刷
電話(水俣)4101番

津奈木



困るときは神だのみになる
るかも知れないが心の落着
きのために、祈るのもよが
ろ。

「神を敬つて
神に頼る」
宮本武蔵の言葉である
畏敬の念を深くして
人生に豊かさを
持たないものである。

由緒
中村神社
通称「天神さん」という
祭神 菅原道真公
延徳(庚戌年一四九〇)
霜月十六日
相良藤原爲頼代
源朝臣爲秀公勤請に依り
建立せりと云う
六車茂一郎著
津奈木村郷土誌より

中村神社
天神様
新しい年を迎えると、す
ぐに受験の季節となる。今
年も多くの子ども達が夢を
叶えるために挑戦している
ことだろう。受験生にとつ
て頭の痛い季節である。
津奈木町に立派な天神様
がある。

一言

久しぶりの空の旅——早朝の澄
みきつた青空、空中の遠い水平線
青と白のコントラスト、目立つ山
々のゴルフ場、作物で彩られた田
畑、積木を並べた様な家々……。
安定した水平飛行、声一つしな
い静かなひと時、仕事も生活の事
もすっかり忘れて、いい気分にな
った自分が居る。
快晴の天気巡り合ったことが
最高にうれしい。
感激？は機内でもまるで人形
の様な、笑顔のスタッフに思える事
も思わずカメラに手を……でも止め
た。
乗客のお世話をするエアホステ
スさん達の単純にも思える仕事、
支えはプライドかな？と自分勝
手に思う……。
一時間四十分の空の旅も、無事
着陸のゴウ音と共に幕。
私は搭乗手続きの時、遠慮なく
窓側をお願いする。
帰りの便は夜——上空から見お
ろす東京の夜景は、まるで輝く花
火のよう……。
久しぶりの都会の風に気持ちよく
充電したようだ。
「明日から、また頑張らなくち
や……。」と現実の自分に戻る。
華やかに見える都会の生活に少
々余りだが、でも、ぼくはやっぱり
田舎人、土の匂いでの暮らし
は考えられない。(N・F)

ふれあいであいっばい 親子風あげ大会

親子が一緒に何かをする機会
が少なくなってきた今日。
平成八年二月二十一日(日)総合グ
ラウンドで「親子風あげ大会」が
開催されました。
この大会は冬休み等に親子が
協力して作った手作り風が対
象で、既製品は賞の対象にはな
りません。今回の参加者は約三百人
風と風がけんかする場面も多く見



親子風作り教室

(お父さん・お母さんの方が夢中でした)



られました。また、大きい風、小
さい風とバラエティに富んだ風が
大空に飛んでいました。
もちろん地面を這いずりまわる
地引風もあれば、子から「お父さ
ん、どうして僕の風はあがらない
の」と言われてあせるお父さんや、
子供よりも風あげに夢中になって
グラウンドを駆けまわるお父さん、
お母さんの姿もあちらこちらに見



お母さんばくにもやらせてよ



どんなもんだいお母さん



熱心に指導しておられました



お父さんすごい

られました。
表彰式では、ユーモアにとんだ
各賞や全員に参加賞があり、親と
子が短い時間でしたが楽しく、ふ
れあった楽しい一日でした。

私たちの生活学校 (住みたくなる町づくりを目指して)



水俣病資料館にて

私たちの日常生活、そして私たち
が暮らす地域社会
には様々な課題が
あります。
このような課題
を一つ一つ解決し
て、明るく住みや
すい社会を実現し
ていくことが全ての人の願いで
すが、そのためにはどのような取
り組みが必要でしょうか。
勿論、私たちの暮らしを良くし
ていくのは行政に携わる者の責務
ですが、それだけに頼るのでは
なく、自分たちの力で解決して
いこうとするのも大切です。
地域に住む一人一人の力を合わ
せれば、多くのこ
とが可能となりま
す。たとえば「子
どもたちが安心し
て遊べる場所が
ない」、「子ども
たちが健全な消費
生活を営むために食
生活、商品などの
問題点を点検しそ
の改善を図る」「ビ
ン・カン・紙パッ
クと資源ゴミのリ
サイクルシステムを確立する」地
域社会における助け合いのシステ
ムの確立を図る」等、これらの問
題解決の一つの方法として生活学
校があります。
津奈木町生活学校では「環境問
題」を柱として「住みたくなる町
づくり」を目標として、「二十一世
紀を担う子供たちに、美しい地球
美しい津奈木をのこすための活動
にしたい」と思っています。
皆さんの御協力をお願いします。
(今年度の活動内容)
○水俣病環境センター及び水俣病
資料館見学研修
○講話(住みよい地域社会と生活
学校)
○花いっぱい運動
○ゴミブリックづくり
○廃油で石鹸づくり
○生活学校パンフレット作成

読んでみませんか図書

(子供用)
・ちいさなお城・ライオンとねず
み・まほうのおなべ・ともだちで
きたかな・パパだいききママだ
いすき・はじめてのおききさん・
えもいのはどこだ・ちいさなきし
や・さるくんのまほうのふえ・お
いしおばけ・ふとりすぎですや
サ・タ・タ・タ・タ・タ・タ・タ・
ズ・ニ・名作ライブラリー(I・II)

(大人用)
・寺本輝夫のむかし話(ほらばな
し・てんぐのはなし・おにのはな
し・一休さん・彦一さん・吉四六
さん・わらいばなし)・学習漫画・
世界の伝記(リンカン・キリスト
・マリーアントワネット・徳川家
康・ガリレオガリレイ・キュリー
夫人・ペーブルス・ヘレンケラ
ー・マザーテレサ・エジソン・ナ
ポレオン・ニュートン・ライト兄

第・ノール・ベーター・ペン・コ ロンパス)外

日本一心のこもった恋文・水は
救えるか・遠すぎた終着・化粧・
おるが水俣・水俣海の樹・高校の
現場から・父と母よ・走らんか・
愛されすぎた女の悲劇・心のお
もむくま・高松宮日記・イエロ
ーキャブ2・サッチャー・私の半生
・空を見上げて・大事なこと・こ
ころの手足・お母さん子どもの作
文読んでますか・イチローを育て
た鈴木家の謎・おやじ頑張れ外

津奈木の地名のあじ③ 「全国のツナギ地名」

本稿①②で佐敷宿と水俣宿をつなぐ往還の仲継地から生まれた地名であることを述べてきた。参勤交代の往還には必ず宿がもたらされた。その宿と宿の間に難所(峠など)が横たわっている、且つ距離が遠いという所は全国いたるところにある。東北地方特に岩手県に多い。

ツナギが宿に昇格した所は、安政四年刊「大日本行程図」に2ヶ所、明治十二年のそれには盛岡一戸間に「小ツナギ」が加えられているが、きわめて稀なことである。

油彩「風景」1964

境野 一之作



小さな幸せが築けたらいいね。
玄関に続く階段のフラワーポットには、一年中花が絶えず、訪れる人が絶えない。
そんな家庭が築けたらいいね。
ずっと、ずっと小さな幸せを守りながら、家族みんなで暮らせたらいいいね。

庁舎美術館(64)

良気な天気に恵まれて、朝早くから校民、PTA、小中学生も交って全員参加を合い言葉にこのイベントが盛大に催されました。
『住みやすい赤崎づくり』をモットーに区民あげて伝統ある餅つき、赤飯配布、バザーがなごやかな内に和気あいあいとして進められました。一人暮らしの老人への励ましをかねて毎年行われているそうです。
来賓の社会教育委員、区長さん方も多数参加され、この情景を見

赤崎地区



国土地理院 2万5千分ノ1地形図「加世田」「枕崎」ヨリ

町中地区 母さん ありがとうの会

母に妻に心から感謝する会として、カアチャンありがとう会が、すぐく賑やかに行われました。区長さん兄弟のリードがまた大変に上手で地域おこし、住みたくなる町づくりのユニークな行事でありました。



男達のサービス

モデル地区 公民館活動!!



楽しい餅つき



赤崎バザーコーナー

バザーコーナーにはPTAの方が夜中までか、って作成された心のこもった品々が、子供達に好評で、また、く間に売り切れ楽しい一日を過ごしました。

ここに、こんな人が...

剣道に
願いをたくして
平野新一さん(38)
(平国下)

平国小学校の子ども達に剣道の指導を一年間続けられる役場にお勤めの平野新一さんをお訪ねしました。



1月3日の初げいこにて

強い身心を鍛えることにあります。休まず稽古に来る子ほど上達は早く、又保護者の応援は子どもにとって最高の上達の特効薬になり、いい結果をのこしているそうです。剣道とのかかわりは小学校六年

からで、中学校での部活で本格的に始められ高校の三年間、更に役場に入られてからもつづられ、芦北郡の県体代表選手の一員として活躍されておられます。現在五段への昇段を目指して練習に励んでおられる平野さん。
「継続は力なり」と言う言葉が好きとの事ですが、決められたことを、続けることは大変なことです。剣道の指導の外に、三太郎駅伝の本町代表選手、又平国地区六方踊りの後継者として活躍しておられる平野さんですが、その裏には家族の理解と協力があってこそできることを忘れてはならないと感じました。 石田記



出水市東光山公園にて

少年少女サークル活動(4) 「厳冬ハイキング」

二十日(土)今回のサークル活動は、厳冬ハイキングです。昨日からの寒波で、保護者の方々は「寒い、寒い」の連発ですが、さすが

短歌

宮崎 優選

野田浦子

肥後狂句

今月の秀歌

寒空に刈田上の少年の手作りの風風に乗る。 寺本ツルヲ

白浜美和子

寺本ツルヲ

達生

万葉

神無月

ただ

よか話 貯金は全部吐き出させ

言うばかり 五キロやせるぞ今年こそ

よか話 はよ仲だちに頼み行け

言うばかり まだ呉れらしたことが無か

よか話 乗って馬鹿みた太か損

言うばかり 酒はこりこりもう飲まん

よか話 欲かばってん銭が無ア

言うばかり もう何年過ぎたらか

とよ

(次笠) 櫻前線 耳にたこ

一笠二句ずつ四月十三日まで

つなぎ文化センターへ

雑感・県伝統工芸館

日野 敏子

せ、片隅の喫茶コーナーへ。自分の気に入った茶器を選び、セルフサービスでお茶を頂く。中味は、緑茶や玄米茶なのだが、これが少し上質した心と体を休めてくれる。外の緑をながめながら、ゆったりとした安らぎの時を味わう。我が

列されている。い草のコースターや、出世巻など手頃なおみやげになる。二階は常設展示場。県内各地の伝統工芸の粋が集められ、芸術品としても価値あるものばかりだ。ここは有料である。紙面も残り少なくなってきたので、百聞

は一度のぞいてみられては。実は、私も十数年前、ある人に案内してもらった。蛇足だが、そのある人とは、今のつれあいである。
早朝から延々、座りづくめの研修会、往復時間も合わせると、いくらクッションのきいたおしりでも、家路につく頃には軽い痛みが出る。しかし、伝統工芸館でのほんの一時が、その痛みを和らげ、明日への活力を与えてくれた。昨今、すぐ手前に、県立美術館の分館も開設され、訪れる楽しみも増した。しかし、現実には機会がなく、新聞の催し欄をかいまみるだけの頃である。 保育園保母

子供は風の子です。いっこうに寒さは気にしていない様子。午前十一時津奈木駅を出発し途中、水俣駅で乗り替え出水駅へ降り立ちました。
出水市東光山公園までは、最短距離を雪合戦しながら、急激な上り坂をふみしめ、やつの思いで目的地へ到着することができました。ほんとうに寒いですが、この時に食べた弁当は特別おいしかった。午後の自由時間は、広い敷地を各

自思い思いの場所で楽しみ、最後は全員集合し、レクリエーションです。ジャンケンゲームや宝探し、雪合戦を保護者も一緒に参加していただき、時が経つのも忘れ、団員と童心に帰って楽しく過ごすことができました。一心不乱に遊ぶ姿や歓声、下山の時に自然と口ずさみながら手をつないで歩いている様子に、自分の子供の頃を投影し今日一日がとてさわやかな一日となりました。 (平尾記)